

第1部・基調講演

今、企業に求められるもの～J-SOX対応時代に
必要なリスクマネジメント力～



日本大学教授／金融庁企業
会計審議会臨時委員
堀江正之氏

管理職が過重なノルマに耐え切れず、架空売り上げによる粉飾を行うなど、統制環境としても考える必要がある。

内部統制の仕組み維持・向上

IT活用で業務プロセス変革

現在起きている企業の不正・事例を分析すると、経営者層・職務の分離や監視活動の不備による不正では倫理観に問題がある場合が多く、管理者

これら内部統制環境の不備が原因だとすれば、法令順守体制の確立や情報・ソフトウェアを含む企業財産の保全、業務の有効性と効率化

どころとしては、①大きな漏れがないようにすること②業務手続の標準化を行うこと③代替的統制を深く考えること、が挙げられる。

SOX法対応時代における企業コンプライアンスと、ソフトウェア資産管理の重要性

企業と、明確な定義がない日本の企業では、統制の方法も異なるだろう。企業文化によって、内部統制の方法も異なる。

内部統制にSAMを活用

第2部・講演

企業リスクの法的考察
日本のソフトウェア資産管理の状況と
BSAの活動の紹介



BSA日本担当顧問
TMI総合法律事務所弁護士
石原修氏

害金として年利5%が課せられ、訴訟費用もかかる。裁判では和解で解決するケースも非常に多いが、和解金が一億円を超えるケースもある。

掘江 本来、いわゆるJ-SOXの対象ではない未上場の企業も、内部統制に

業種、業態、規模を考慮し実施
課題解決に「基準」は大きな力
目的を重視してリスクを評価
大学で進むソフトウェア管理
業務プロセス見直すチャンス

石原 ソフトウェアが著者権利を持っていて、管理ツールメーカーが持っているカタログは、せいぜい数十種類から数百種類にすぎない。

「漫然と放置」に大きなリスク

現在、企業の社会的責任が重視されている。知的財産権保護に含まれるソフトウェア

上田 企業へのコンサルティングを通しての実感としては、内部統制への対応が進

石澤氏 堀江氏 石原氏 堀江氏

石澤 ソフトウェアが著者権利を持っていて、管理ツールメーカーが持っているカタログは、せいぜい数十種類から数百種類にすぎない。

ソフトウェア資産管理コンソーシアムの取り組み

ISO/IEC19770-1



ソフトウェア資産管理
コンソーシアム
篠田仁太郎氏

ソフトウェア資産管理の重要性は以前から認識されていたが、管理基準や管理手法は

ソフトウェア資産管理の重要性は以前から認識されていたが、管理基準や管理手法は

ソフトウェア資産管理の重要性は以前から認識されていたが、管理基準や管理手法は



石澤 内部統制という、会計や財務の問題に対処すれば十分だと誤解している方も多

上田 内部統制の仕組みは、業種や規模で同じではなく、企業ごとに多様なパ

石澤 内部統制の仕組みは、業種や規模で同じではなく、企業ごとに多様なパ

広告